

# ひろば



## 今しかできない、 子どもとの楽しい思い出を！

品川区教育委員会教育委員 波多野 美佳

自分の子どもと、どんな時間を過ごしたいと考えていますか？

私には、二人の娘たちとの体験や思い出が、とても素敵な心の財産になっています。

私の娘は、生き物が大好きです。私は、そんな子ども大好きなことを、たくさん経験させてあげたいと願い子育てをしてきました。

その結果、我が家では実にいろいろな生き物と関わる機会をもってきました。

例えば、カブトムシは毎年夏になると、山からとってきていました。さらに、そのカブトムシが産んだ卵

を孵化させます。アゲハ蝶を育てるために、玄関先に夏みかんの植木を買っておいておきました。すると、ちゃんとアゲハ蝶が来て卵を産んで、幼虫からサナギになり、蝶になるところも観察しました。川でとってきた、ドジョウやナマズも飼いました。可愛いシマリスやうさぎも飼っていました。

研究で、苔の中にある肉眼では見えないクマムシを顕微鏡で探しました。また、切断しても自己再生するプラナリアをとってきて、実験してみました。切断するのはかわいそうでしたが、

本当にちゃんと元の姿に変化して驚きました。まだまだ、他にもたくさん生き物がいました。

このように、実際に触ったりすることで、その感動は大きくなります。昆虫をたくさんとりました。が、できるだけその場で逃がしてあげるようにして、生命の大切さも教えてきました。

子どものためと思ってきたことが、それは私にもとても素敵なギフトになりました。今もふとした時に、子どもたちが生き生きとした体験をして喜んで笑顔や、ともに楽しんだ感動

が心に浮かびます。すると、なんとも心が平和な気持ちで満たされます。また、親子で思い出話に花が咲きます。

子どもと一緒に過ごすことができる時間は、「忙しい、大変!」と言っていて、あつという間に過ぎていきます。「子どものためにする」というより「一緒に楽しむ」感覚で、子育てできるといいですね。

今しかできない子どもとの時間と体験を、大切にしてください。

## いじめ根絶宣言を制定

「いじめ根絶宣言」を平成25年9月24日の教育委員会で議案決定いたしました。



今後、この宣言に基づき、児童・生徒会が中心となって各学校独自の宣言を行う予定です。

### いじめ根絶宣言

いじめは、重大な人権侵害であり、決して許されません。いじめは、どの子どもにも、どの学校でも起こり得ます。学校教育に携わる私たち関係者と、児童・生徒、各家庭、地域の方々、関係機関等、それぞれが協力して、いじめの未然防止・早期発見・早期解決を図り、地域社会が一丸となって、以下のように、いじめ根絶に取り組むことを誓います。

- 一 いじめは、どんな理由があっても決して許されない。
- 一 いじめは、どんな状況にあっても見すごしてはならない。
- 一 全ての区民参加で、いじめは絶対に許さない社会をつくりあげる。

平成二十五年九月二十四日

品川区教育委員会

## いじめ根絶に向けて

### 「小中一貫の日」を実施

いじめ根絶に向けて、6月・11月・2月の第1水曜日を「小中一貫の日」とし、全教職員対象の研修を行っています。

今年度、第1回の「小中一貫の日」（6月5日）は、全ての小学校教員が各中学校に出向いて、7年生の市民科の授業を参観しました。その後は、小中の教員が一緒になって、情報交換をし、活発に意見を交わして、連携を深めました。



小学校教員による7年生の授業参観



第2回小中一貫の日 いじめ防止の合同研修会

第2回（11月6日）は、豊葉の杜学園を会場に全体研修会を実施しました。会では、渋谷正宏指導課長によるリードで区内全教職員で「いじめ根絶宣言」を読み上げ、一丸となって対応することを誓いました。

第3回の「小中一貫の日」（平成26年2月5日）は、各小学校に中学校の教員が出向いて、6年生の授業を参観し、情報を交換する予定です。

## 品川区固有教員宿泊研修を 実施しました

「ずっと品川の先生」のキャッチフレーズで始まった品川区固有教員の採用も今年で5年目となり、教員数は15名となりました。

固有教員には、品川区の教育を中心となって推進するという役割があります。

そこで、平成24年度から、区長を会長とする「品川区教志研究協議会」を発足し、固有教員の資質や能力の向上を図るための研修を実施しています。

今年度も7月31日から8月2日までの2泊3日で宿泊研修を実施しました。



分科会とプレゼンテーション



区長講話

今回の宿泊研修では、小中一貫教育の未来を考えることを主題とした研究と講話を実施しました。研究では、品川区固有教員が市民科学習、英語教育、理数教育の3つのテーマの分科会に分かれ、現状の課題や、その原因として考えられることについて学校現場での経験をもとに話し合いました。

講話では、区長、教育長、教育委員、そして学校経営監が登壇。区の固有教員に期待すること、教師としての心構え、自己研鑽の大切さ、などの話を聞き、品川区固有教員としての役割を再確認しました。

3日間の研修を通して、公私ともに仲間との結束を固めるよい機会となりました。



## 特色ある教育活動

### ○特別支援教育の充実

本区では、子どもたち一人一人の様々な教育ニーズに応じて、適切な指導および必要な支援を行えるよう、特別支援教育の充実に努めています。

現在、源氏前小学校が「インクルーシブ教育システム構築モデルスクール」（平成25年度文部科学省）、「発達障害のある児童・生徒の指導内容・方法に関する研究開発校」（平成24・25年度東京都）の指定を受け、発達障害に有効な指導内容等を研究しています。今後は、開発された教材等が区内全校で活用できるようにし、特別支援教育の充実を更に図ってまいります。

### ○理数フロンティア校

今年度は、上神明小学校と鈴ヶ森中学校が理数フロンティア校（東京都指定）として、効果的な教材や指導方法の開発、地区公開講座等の先進的な取組を実施し、その内容を区内の各学



校に対して情報発信しています。対象校では、教員を対象とした理数教育に関する研修等を行うなど、品川区における理数教育の中核的な役割を担っています。

### ○アスリート一日校長先生

7月11日（木）に小中一貫校 荏原平塚学園で東京都のスポーツ教育推進の取組の一環としてアスリートの「一日校長先生」事業が行われました。

今回は北京オリンピック男子マラソン代表であり、陸上競技指導者の尾形剛先生に来ていただきました。尾形先生からは、小学校時代のこと、病気と闘いながら競技を続けていた辛い時期のこと、オリンピックに出場したときのことなど、いろいろなお話を伺いました。また、その後の実技指導では、速く走るための正しいフォーム等を教えていただきました。尾形先生の発案による児童数名との競争もあり、大変盛り上がりしました。

### 区長と教育委員の懇談会

9月10日（火）、濱野区長と教育長を含む5人の教育委員との2回目の懇談会が開催されました。

この懇談会は「次世代を担う人材育成の観点から、行政の首長も、教育について一緒に考え、意見を述べたい」との濱野区長の意向を受け、今年度から始まったものです。区長と教育委員が直接意見交換できる場を設けることで、双方の連携を強化することが期待されます。

濱野区長から「行政の様々な資源を活用していただくことで、教育の向上に繋がっていくことができますか」と考えています。子どもたちが、より良い教育を受けられるよう、双方で刺激しあい、知恵を出し合い進めていきたい」と、冒頭にあいさつがありました。

この日は、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催が決定した直後ということもあり、国際理解教育についての議論から始まりました。語学

を学び、学んだ知識を生かす場として、海外から多くの来客があるオリンピック・パラリンピックは、絶好の機会となります。子どもたちが夢や希望、学びの意欲や目標をもつには、グローバル社会に通用する語学力やスポーツを通じた国際交流の機会がこれまで以上に必要であると、認識を共有しました。

このほか、いじめの問題については、いじめを防止する方法のひとつとして、合唱、スポーツなど学校をあげて子どもたちが夢中になって取り組めるものが大切で、そのためには、魅力ある学校づくり、それを支える地域との連携が重要である、といった意見交換がありました。



懇談会の様子

### 学校給食の人気メニュー

区内にある小学校のリクエスト献立により、上位ベスト5を紹介します。是非、ご家庭でもチャレンジしてみてください。

#### 主食ベスト5

- 第1位「焼肉ごはん」
- 第2位「ジャージャーメン」
- 第3位「カレーライス」
- 第4位「スパゲティミートソース」
- 第5位「カレーうどん」

#### おかずベスト5

- 第1位「ポタージュスープ」
  - 第2位「ギョーザ」
  - 第3位「チャーハン」
  - 第4位「手作りソーセージ」
  - 第5位「コロッケ」
- ※チャーハン・サイイとは、豚肉・人参・春雨・キャベツ・もやし・にらの炒め物のことです。



#### デザートベスト5

- 第1位「めだまやきのゼリー」
  - 第2位「スイートポテト」
  - 第3位「サーターアンドギー」
  - 第4位「フルーツゼリー」
  - 第5位「さつまいもごま団子」
- ※めだまやきのゼリーとは、カルピスゼリーの真ん中に黄桃を入れたものです。



同第4位



同第2位



主食部門第1位



同第5位



同第3位

## 品川図書館設立90周年

今年品川図書館の前身である「荏川町文庫」が、大正12年に設立されて90周年にあたります。品川図書館では、大正・昭和・平成と地域住民とともに歩んできた90年の歴史を記念した行事を開催しました。

## 芝生の上で親子で読書

9月28日（土）、第一日野小学校校庭において90周年記念行事「芝生の上で親子で読書」絵本をたのしもう」を開催しました。親子で楽しく絵本とふれあう時間をもつことで、幼い頃から本を読むことの楽しさを知り、読書習慣を身につけてもらうための企画です。

好天にも恵まれた当日は、幼児から小学生までの子どもと、その保護者約160名が参加しました。会場には、乳児・幼児・小学生にあわせた約1,150冊の絵本が用意され、それぞれの家族が晴れ渡る青空の下、思い

思いに読書を楽しみました。

芝生の上では、3カ所で読み聞かせボランティアによる「おはなし会」を開き、参加した親子は絵本の読み聞かせに聞き入ったり、手遊びに夢中になつて一緒に身体を動かしたりと、鮮やかな緑の芝生の上に、明るい笑顔の輪が広がりました。



ボランティアさんによるおはなし会。子どもたちは夢中でおはなしに聞き入り、お父さんやお母さんも真剣に耳を傾けて、一緒に楽しんでいました。



## 90周年記念講演

## 『作品にのせて誓う』

10月19日（土）には、六行会と共催し、六行会ホールに脚本家、映画監督の北川悦史氏をお迎えし、ケーブルテレビ品川の黒澤明子区民アウンサーが聞き手となり、お話をうかがいました。自分は難病だが、どんな病気でも、その苦しみは同じとおっしゃる北川氏。ご自身の病気と向き合い、上手に付き合いながら書くことでその思いをセリフにのせ、それをのり超えることで素敵な脚本になつていくようです。

最後に北川氏は「自分の書いた脚本、監督をした映画には、端々に『北川悦史子』が見え隠れしているの、それを探してほしい。また、その作品を見た後にはほんの少し、5mmでもいいから、前よりハッピーに感じてもらうような作品を作っていきたい。」と、今後の作品制作にかける意気込みを語ってくださいました。

## 90周年記念特別展示

10月には1カ月間にわたり、品川区立図書館各館で、「図書館でわがまち品川の魅力発見」をテーマに、図書の展示・貸出を行う90周年を記念した秋の読書フェアを実施しました。品川図書館では、品川ゆかりの作家の図書を集めたブックフェアとともに、星薬科大学歴史資料館所蔵の星一、星新一に関する貴重な資料も展示しました。また、90周年の歩みを写真パネルで紹介し、図書館の変遷を紹介するパンフレットを配布しました。



3階入り口付近に設置した特別展示コーナー。品川ゆかりの作家たちの著作や関係図書を展示し、好評でした。

第32回  
動物愛護  
ふれあい作文  
コンクール  
表彰受賞者

主催  
公益社団法人東京都獣医師会品川支部  
品川区教育委員会

今年も動物愛護週間にちなんだ動物愛護作文コンクールに多数の優秀な作品の応募がありました。選考の結果、次の皆さんが9月30日(月)に品川区役所第三庁舎講堂で表彰を受けました。受賞者の皆さんを紹介します。(五十音順・敬称略)

5年生  
入選の部

- ・上神明——岩崎漣太郎
- ・延山——大倉向日葵
- ・京陽——尾崎 愛
- ・延山——小林 紘之
- ・鈴ヶ森——永作和佳苗
- ・城南南——中澤 英利
- ・御殿山——三林 飛鳥
- ・山中——持松進之介
- ・山中——森泉 蓮
- ・源氏前——山崎 菜央

5年生  
佳作の部

- ・鈴ヶ森——猪瀬亜季子
- ・源氏前——上岡 里莉
- ・大原——川島 三奈
- ・上神明——佐藤 春菜
- ・城南南——西村 咲希
- ・城南第二——濱 ほか
- ・浜川——林 友博
- ・第二延山——伴 玲奈
- ・浜川——藤田 悠人
- ・戸越——松崎璃々花

6年生  
入選の部

- ・鮫 浜——大澤 佳笑
- ・旗台——唐澤 礼
- ・大原——川崎 璃乃
- ・立会——小松 史佳
- ・戸越——齋藤 綾
- ・城南第二——土屋 ひな
- ・第二延山——直井 優弥
- ・延山——新居崎柚葉
- ・第一日野——吉平 美月
- ・上神明——渡辺 麟良

6年生  
佳作の部

- ・第四日野——伊藤 誉希
- ・豊葦の杜学園——神山 月丸
- ・小山台——國枝 奈未
- ・第三日野——後藤優美香
- ・後地——島田 芽衣
- ・源氏前——高橋 涼奈
- ・第三日野——竹本 泰志
- ・伊藤学園——田中あゆ美
- ・宮前——山田 隼大
- ・京陽——渡邊 日葵

第35回  
品川区長杯  
少年野球  
争奪大会

第35回品川区長杯争奪少年野球大会が、しながわ区民公園少年野球場を中心に、9月1日から10月14日まで開催され、熱戦を繰り広げました。

中学生の部

- 優勝 立会キングス (16チーム参加)
- 準優勝 城南ジャイアンツ
- 第三位 富士見台中学クラブ (宮前ジュニアーズ)

小学生高学年の部

- 優勝 西大井ウインズ (32チーム参加)
- 準優勝 八潮ドリウムキッズ
- 第三位 旗の台ワールド (荏原イーグルス)

小学生低学年の部

- 優勝 品川レインボーズ (34チーム参加)
- 準優勝 相生イーグルス
- 第三位 旗の台クラブ (滝王子イーグルス)



品川レインボーズ



西大井ウインズ



立会キングス